



あゆっ子

学校教育目標「ふるさとを愛し 夢に向かい 共に学び 行動する子」

No.4

今こそ米作りの大切さを！

～ 地域と一体になって取り組むあゆっ米作り ～

5/15に5・6年生を中心に種まきをした『あゆっ米』。ぐんぐん育ち、予定通り6/13（金）に田植えを行うことができました。青空の下、子供たちは、泥の汚れも気にせず、楽しんで活動しました。また、伝統として、5・6年生が優しく丁寧に下級生に田植えの指導や手伝いをし、予定より早く田植えを終了することができました。

今年は、予定通りの日程で行えたため、保護者の方や青葉会を中心とした地域の方もたくさん応援に来ていただき、交流の声や笑い声が阿多古の山々に響く、にぎやかで楽しい田植えとなりました。子供たちは作物を育てる楽しさとともに、地域の温かさを一層感じられたことと思います。

今後も、すがい作り、稲刈り、脱穀等、1年を通して地域の方とともにお米作りに取り組んでいきます。また、「米作り」に関連づけた教科の学習や、子供たちがやってみたいことを総合的な学習の中で、計画を立て取り組んでいく予定です。「あゆっ米」の販売も2年目となり、今年は5・6年生が挑戦します。これらを通して、「ふるさとを愛する心」も育てていきたいと思っています。

当日、サポートしてくださった保護者の皆様、御指導してくださった青葉会の皆様、本当にありがとうございました。今後とも、「あゆっ子」の学びのサポートをよろしくお願いします。



6月12日は「いのちについて考える日」

浜松市では、毎年6/12を「いのちについて考える日」としています。過去に浜松市内で起こった悲しい出来事を二度と繰り返すことがないように、浜松市の子供たちに命の大切さを考えてもらうためです。

下阿多古小においても、6/11に集会を行いました。今回は「今日で生まれて何日目？」というお話と、「友達と力を合わせるためには？」をテーマに体を使った活動をしました。

「生まれて何日目？」の話では、3年生の子を例に挙げ、「今日がちょうど3,300日目！おめでとう！」という紹介をし、今まで生きてきた日々への感謝について考えました。「友達と力を合わせるためには？」では、座った状態から二人組で手をつなぎ、引っ張りあいながら立ち上がる体験をしました。どちらか一方の力だけでなく、お互いに相手の力を感じながら調整する大切さを体感しました。そのうち、2人組から3人組で、そしてクラス全員でと自然に子供たちで人数を増やし、最終的には6年生の声掛けもあり、全校で気持ちをそろえて立ちあがってみようと挑戦しました。自然にお互いに声を掛けて仲間を増やす姿、学年関係なくつながろうとする姿に感動を覚えました。1学期も残り少なくなりましたが、これからも仲間を大切に、楽しく生活していくことと思います。

